

第27号議案

平成19年度社会福祉法人やまゆり 福社会事業計画について

平成19年度社会福祉法人やまゆり福社会事業計画を別紙
のとおり決定するものとする。

平成19年3月29日

提 出 者

理 事 長 梅 澤 太 郎

平成 19 年度

事業計画書

社会福祉法人

やまゆり福祉会

I 法人本部事業

1. 法人事業の経営理念

法人定款第3条の定めるところにより、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実・効率的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努める。

2. 本年度の主な事業

(1) 施設運営（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

- ①第一種社会福祉事業 知的障害者援護施設（入所更生） 八王子美山学園の運営
- ②第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（短期入所 八王子美山学園）運営
- ③第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（共同生活介護・共同生活援助 いずみ寮）運営

(2) 障害者自立支援法の施行に伴う新体系事業への移行事業（平成19年10月1日～）

- ①第一種社会福祉事業 施設入所支援事業（八王子美山学園）の設置運営
- ②第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（生活介護）の設置運営
- ③第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（就労継続B型支援）の設置運営
- ④第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（短期入所 八王子美山学園）運営
- ⑤第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（共同生活介護・共同生活援助 いずみ寮）運営

(3) 事業の充実・拡大

利用者や在宅障害者等の利用拡大を図るとともに、法人の経営基盤を構築強化するため、就労継続B型支援事業内容の充実・多様化を図るほか、就労継続A型支援・自立訓練・就労移行支援などの事業拡大を検討する。また、今後の利用者の地域移行や在宅障害者の利用拡大に備え、共同生活介護・共同生活援助（グループホーム・ケアホーム）事業の拡大を図る。

就労継続B型支援事業	<ul style="list-style-type: none">・製パン事業の整備・販路拡大・リサイクル事業の整備・事業拡大・プラスチック成型事業の早期立上・梱包事業の見直し・新規事業の開拓
共同生活介護・共同生活援助事業	<ul style="list-style-type: none">・2棟程度（定員10名程度）の新規立上

(4) 法人組織の強化

一連の福祉関連法の改正、並びに障害者自立支援法の施行に伴い、これからの社会福祉法人は、従前の施設運営主体の経営から、利用者サービスの向上と経営基盤の強化を目指した競争力のある法人への脱却が喫緊の課題である。当法人としては、こうした状況に対処するため、法人本部を設置する等の法人組織の充実強化を図る。

(5) 人事管理制度の充実

職員の志気高揚、人権尊重やコンプライアンス意識及び経営感覚の醸成など、今後の法人経営に必要不可欠な人材育成のため、職員目標管理制度を導入し、人事考課制度と給与制度を適性に運用し、やる気のある職員育成を図る。

(6) 費用負担の検証

昨年4月1日から実施された障害者自立支援法による利用者負担制度の見直しの主旨に沿い、利用者と事業者の費用の負担区分の更なる明確化を図る。

(7) 給食委託事業の検証

障害者自立支援法による給食提供サービスの規制緩和及び食事代の自己負担化に伴い昨年7月から委託化した給食事業について、これまでの実態を検証し、利用者の意向に合った給食に向けて検討する。

(8) 第三者評価の継続実施

(9) 接続道路・公園の行政への移管及び法人土地の確定作業の実施

(10) 施設整備の検討・実施

生活排水の公共下水道への接続化及び不要浄化槽の撤去
屋上防水工事
食堂の改装
トイレの改装
居室の環境整備等

3. 理事会・評議員会の開催

①第1回定例理事会・評議員会（5月）

前年度事業報告及び決算報告の審議、その他

②第2回定例理事会（7月）

中間事業報告、その他

③第3回定例理事会（9月）

中間事業報告、その他

④第4回定例理事会・評議員会（11月）

中間事業報告、補正予算の審議、その他

⑤第5回定例理事会（1月）

中間事業報告、その他

- ⑥第6回定例理事会・評議員会（3月）
次年度事業計画及び当初予算の審議、その他
- ⑦臨時会（随時）
審議の必要に応じ、随時

4. 組織管理

- ①新体系事業に対応した法人本部機能の確立
- ②事業現場において良質なサービスを効果的・効率的に提供できる簡素で機能的な組織運営
- ②職員の適正な配置

5. 人事・給与管理

- ①職員の志気高揚、人権尊重やコンプライアンス意識及び経営感覚の醸成など、今後の法人の運営や経営にとって必要不可欠な人材育成のため、人事考課制度と給与制度を適性に運用し、やる気のある職員育成を図る。
- ②人事考課制度に連動した給与体系の確立

6. 財務管理

- ①業務の効率化及びコスト削減
- ②経理事務の適正化
- ③契約の公正性・透明性の確保

7. 事務管理

- ①法人文書管理・保存規程に基づく文書管理・保存の適正化
- ②法人印章取扱規程に基づく印章の適正な取扱い

8. 情報公開・開示

- (1) 法人情報公開・開示規程に基づく情報公開
- (2) 法人ホームページの更なる充実
- (3) 法人広報誌「やまゆり通信」の年2回の定期発行

9. 個人情報保護

法人個人情報保護規程に基づく個人情報保護

10. 苦情対応

法人苦情対応規程に基づく苦情の迅速な対応

11. リスクマネジメント

法人リスクマネジメント規程に基づくリスクマネジメントの取組み

12. ボランティア・実習生等の受入及び地域連携

- ①ボランティア

- ア 各事業における積極的なボランティアの受入
- イ 各種行事等でのボランティアセンターの積極的な活用
- ウ 華道クラブ、学習クラブ等余暇活動のボランティア活用
- ②実習生（大学・短大・専門学校） 10校 24名
- ③教員免許法の特例による介護等体験 28名
- ④各事業における地域との連携強化

13. 防災対策・危機管理

①防災対策

- ア 消防計画の見直し
- イ 消防計画に基づき、消防署の指導による消防訓練の実施

訓練項目	実施月
避難訓練	毎月1回
通報・初期消火・避難訓練	6月・12月
避難訓練	5月・9月
地震・火災・避難訓練	1月・8月・10月
夜間想定避難訓練	11月
災害教育	2月・7月

- イ 災害活動相互応援協定による防災訓練の実施
- ウ 消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検
- エ 消防計画・管理運営規程に基づく非常食の備蓄

②危機管理

- ア 法人リスクマネジメント規程に基づいた対応
- イ 緊急時対応マニュアルによる対応

14. 建物設備等の保守管理

エレベーター・浄化槽・ボイラー・防災設備・空調設備・受水槽・建築設備・電気設備等の法定保守点検業務の適正実施

15. 環境対策

①節電・節水の徹底及び冷暖房の適正管理（冷房 28℃、暖房 22℃）

②ゴミの分別・リサイクル

分別種類	リサイクル	内容
可燃ゴミ	廃棄	生ゴミ、紙くず、食用油等
不燃ゴミ	廃棄	革、ゴム、金属、ビニール
雑誌・雑紙	リサイクル	書類、雑誌、ノート、菓子箱等
ペットボトル	リサイクル	ペットボトル
空き瓶	リサイクル	空き瓶
空き缶	リサイクル	空き缶
新聞・チラシ	リサイクル	新聞、チラシ
ダンボール	リサイクル	ダンボール

紙パック	リサイクル	紙パック（牛乳、酒等）
古着・古布	リサイクル	衣類、シーツ、毛布、タオル等
粗大ゴミ	廃棄	重さが5キロ以上
有害ゴミ	廃棄	電池、水銀体温計、蛍光灯等
医療ゴミ	廃棄	注射針、感染ゴミ等
家電リサイクル法対象品	廃棄	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機
パソコンリサイクル法対象品	廃棄	パソコン本体、ディスプレイ、ノートブックパソコン

16. 職員福利厚生

- ①福利厚生センター（ソエルクラブ）への継続加入
- ②定期健康診断の実施
- ③被服の貸与（リサイクル作業）その他

17. 職員研修計画

①施設内研修

研修名	開催予定	講師
採用時研修	新規採用時	園長・課長・係長
法令・諸規程研修	必要時	園長
法律・制度に関する研修	必要時	園長
救急救命講習	必要時	消防署救急係職員、看護職
その他、随時必要に応じて実施		

②東京都社会福祉協議会（知的発達部会）主催研修への参加

研修名	開催予定	職種	人数
経営研究会	5・10・1月	園長 その他	1名
事務スタッフ会	7・11月・2月	事務員	各1名
支援スタッフ会	5・6・7・9・10月 12・1月	支援スタッフ	各1名
栄養調理スタッフ会	9・11・2月	栄養士	各1名
保健医療スタッフ会	6・7月	看護師	各1名
新任職員研修	5・7・9・11月	支援スタッフ	2名
グループホーム関係	必要に応じて出席	管理者 他	
その他、随時必要に応じて出席する			

③東京都福祉人材センター主催研修への参加

研修名	開催予定	職種	人数
新任職員研修	6・7月（2日間）	支援スタッフ	2名
中堅職員研修	10・11月（2日間）	支援スタッフ	2名
指導的職員研修	12月（2日間）	支援スタッフ	2名

リスクマネジメント研修	7月	リスクマネージャー	1名
その他、随時必要に応じて出席する			

④その他の主催

研 修 名	開催予定	職 種	人 数
八王子市内知的障害者入所更生施設長会	偶数月	園長 他	1～2
アメニティフォーラム（滋賀県）	2月	支援スタッフ	2
東京知的障害者入所施設保護者会連絡協議会研修会	随時	園長 他	1～2

Ⅱ. 知的障害者援護施設（入所更生）八王子美山学園事業

1. 支援方針

八王子美山学園管理運営規程第2条に定める支援方針に基づき、各利用者の19年度個別支援計画に則り支援する。

2. 支援内容

利用者の要望、自身の身体的・心理的・社会的状況等を把握し、個別支援計画書の見直しを検討するためスタッフ会議を定期的開催し、利用者の意向や状況に適した個別支援計画を策定するとともに、これに基づき全スタッフが支援を実施する。

（1）生活支援

① 食事支援

- ア 毎日3食（朝・昼・夕）の給食及び食事の支援・介助
- イ 必要に応じて摂取量チェックの実施
- ウ 配膳、下膳の支援・介助
- エ 手洗いの支援・介助

② 排泄支援

- ア 個々の利用者にあわせた誘導・支援・介助
- イ オムツの着用は必要最小限とし、トイレ使用の原則化
- ウ 排泄の自立を促すため、身体能力を最大限活用した援助
- エ 排泄チェックの実施
- オ 夜間の排泄支援・介助

カ オムツ使用者の定期的なオムツ交換、必要時シャワー浴

③ 入浴支援

- ア 週に最低3回以上の入浴の支援・介護
- イ 利用者の身体の状態による清拭
- ウ 入浴時身体チェックの実施
- エ 洗髪後のドライヤー

④ 着替え支援

- ア 起床時の着替え支援・介助
- イ 失禁、粗相時の着替え支援・介助・シャワー
- ウ 入浴後のパジャマへの着替えの支援・介助
- エ 季節に適した服装の支援・介助

⑤ 整容・洗面の支援

- ア 洗面・・・・・・・・一部・全面介助で実施
- イ 髪梳き・・・・・・・・起床時、入浴時に実施
- ウ 髭剃り・・・・・・・・起床時及び必要毎に実施
- エ 歯磨き・・・・・・・・朝・晩の歯磨き及びうがいの実施
- オ 爪きり、耳掃除・・・・・随時
- カ 理髪・美容・・・・・・・・毎月1回理美容師の出張サービス

⑥ 移動支援

- ア 日中活動への移動支援・介助
- イ 食事（食堂）への移動支援・介助
- ウ 排泄（トイレ）への移動支援・介助
- エ 入浴（浴室）への移動支援・介助
- オ その他の移動支援・介助
- カ 自立を促すため、身体能力を最大限活用した援助

⑦ 生活環境整備支援

- ア リネン交換
- イ 歯ブラシ、コップ等の消毒
- ウ 居室の清掃、整理・整頓の支援・介助
- エ 室温の管理

⑧ その他の支援

- ア ケース記録等の記入
- イ トラブル・不安定時の対応
- ウ 水分補給（起床時、入浴後、夕食後）
- エ 夜間見回り

- a 定期見回り
- b その他必要時に巡回実施

(2) 栄養・健康管理支援

① 栄養管理

- ア 栄養に配慮した食事の提供
- イ 刻み食・軟菜の提供及び糖尿食の提供
- ウ 利用者・家族希望による補助食の提供
- エ 委託業者との密接な連携

② 健康管理業務

- ア 利用者・職員の日常的健康指導と助言
- イ 支援スタッフと協調した生活全般における支援・介助の実施
- ウ 定期的なバイタルチェックの実施と記録
- エ 処方箋及び定時薬・臨時薬の支援と保管
- オ 定時薬・臨時薬の服用支援・介助
- カ 通院・入院介助と医療機関との連絡調整
- キ 嘱託医との連絡調整
- ク 健康診断の実施と記録管理
- ケ 予防接種の計画と実施
- コ 通院記録の記入

③ 嘱託医及び医療機関体制

- ア 嘱託医 医療法人永寿会恩方病院 堤祐一郎 医師
- イ 医療機関体制

科 目	病 院 名
精 神 科	恩方病院・あきる台病院・西八王子病院
内 科	恩方病院・加地医院・東京天使病院・西寺方医院・平川病院 他
外 科	高山外科眼科医院
脳 神 経 外 科	北原脳神経外科医院・東京天使病院
整 形 外 科	東京天使病院
皮 膚 科	恩方病院・ゆき皮膚科クリニック・加地医院
眼 科	恩方病院・高山外科眼科医院
歯 科	金子デンタル歯科（往診）・仁和会（障害歯科）総合病院
耳 鼻 科	元八王子耳鼻科
緊 急 時	救急車対応（病状安定後上記医療機関にて通院）

(3) 日中活動支援

利用者の意向に沿った次のような日中活動を支援

生活介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護班 ・見守り班 ・内職班 ・創作活動班 ・ボトル洗い班
就労継続B型事業	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯・清掃班 ・梱包作業班 ・リサイクル班 ・製パン班

(4) 自立訓練支援（地域移行支援）

- ① 対象：3名
- ② 実施場所：敷地内自活訓練棟
- ② 内容
 - ア 個別生活指導訓練
 - a 生活リズムの確立
 - b ADL・IADLの自立度による支援等
 - イ 余暇指導訓練
 - a 外出訓練
 - b 余暇の過ごし方等
 - ウ 社会生活指導訓練
 - a 良好な人間関係作りの支援
 - b 社会生活上のルールの理解
 - c 公共機関の利用支援等
 - エ 職場生活指導訓練
 - a 日中活動参加状況の確認、課題の提示等

(5) 余暇活動支援

①行事

行事名	開催月	費用
納涼会	7月	
日中活動見学会	10月	
クリスマス会	12月	自己負担
一泊旅行	随時計画	自己負担
日帰り旅行	随時計画	自己負担

②クラブ

クラブ名	開催日	費用
華道クラブ	第1土曜日	一部自己負担
料理クラブ	第2日曜日	自己負担
レクレーションクラブ	第3土曜日	自己負担
カラオケクラブ	第3日曜日	自己負担
学習クラブ	第1土曜日	自己負担

③その他

余暇活動名	開催日	費用
外出・外食・買物	随時計画	自己負担
ビデオ鑑賞	随時計画	
ドライブ	随時計画	(自己負担)
観劇・観戦	随時計画	自己負担

(6) 事務管理支援

- ① 行政手続きの代行
利用者、家族の希望に応じ行政等の手続きの代行
- ② 預り金等の管理
貴重品及び金銭出納管理を預り金管理規程により管理

3. 地域交流・ボランティア

- ① 地域交流
 - ア 地域主催の行事への積極的な参加
 - イ 納涼会・バザー等の行事への周辺住民の参加促進
 - ウ パンや椎茸の販売を通じた地域との関わりの強化
 - エ いちよう祭・福祉祭・福祉園祭等の参加
- ② ボランティア
 - ア 積極的なボランティアの受入体制の構築
 - イ 行事等でのボランティアセンターの積極的な活用
 - ウ 華道クラブ・学習クラブ等余暇活動でのボランティア活用

4. 会議・委員会の開催

会議・委員会	開催月
全体会議	必要時開催
運営会議	月1回
棟会議	必要時開催
リスクマネジメント委員会	月1回
防火対策委員会	7月・1月

個別支援計画委員会	必要時開催
ケース会議	必要時開催
その他、随時必要に応じて開催する	

Ⅲ 障害福祉サービス（短期入所 八王子美山学園）事業

知的障害者援護施設（入所更生）八王子美山学園に同じ。

Ⅳ 障害福祉サービス（共同生活介護・共同生活援助 いずみ寮）事業

1. 基本支援方針

- (1) 共同生活介護・共同生活援助事業は、利用者自立を目指し、地域において共同して日常生活を営むことができるよう、知的障害者に対し適正な指定地域生活援助を提供するため、当該利用者の状況並びにその置かれている環境に応じ共同生活住居において食事の提供・相談その他の日常生活上の援助を適切に行い、もって利用者の支援に万全を期す。
- (2) 提供する共同生活介護事業（ケアホーム）・共同生活援助事業（ループホーム）の質の評価を行い、常にその改善を図る。
- (3) 利用者及びその家族に対し、サービス内容及び提供方法についてわかりやすく説明する。

2. 支援内容

- (1) 相談・援助支援
 - ①世話人による相談・援助
 - ②バックアップ施設による相談・援助
 - ③法人設置の第三者委員、苦情受付担当者による相談・援助
- (2) 食事支援
 - ①食事の提供（朝食・夕食）
 - ②栄養のバランス、利用者のニーズに沿った食事の提供
 - ③食事作りなどの自立訓練

- (3) 健康管理支援
 - ①感染症対策の実施
 - ②健康診断の受診支援
 - ③通院支援等
- (4) 金銭管理支援
 - 利用者の金銭管理（バックアップ施設にて行う）
- (5) 余暇活動支援
 - ①利用者の希望による外出等の支援
 - ②バックアップ施設を利用した余暇活動の参加
- (6) 緊急時支援
 - ①防災対策の構築
 - ②利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じた時には救急車対応
- (7) 職場等との連絡・調整支援
 - 就労先職場との連絡・調整
- (8) 財産管理支援
 - 希望者には財産管理等
- (9) その他日常生活に必要な支援

3. バックアップ体制

知的障害者援護施設八王子美山学園